

ハートフルなんぶ

2023. 3月号 vol. 293

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川1201番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

予約ベスト10

(期間：令和4年8月～令和5年1月)

- 1位 『汝、星のごとく』 凧良 ゆう／著 講談社 ≪F ナ≫
- 2位 『ハヤブサ消防団』 池井戸 潤／著 集英社 ≪F イ≫
- 2位 『老人ホテル』 原田 ひ香／著 光文社 ≪F ハ≫
- 4位 『レッドゾーン』 夏川 草介／著 小学館 ≪F ナ≫
- 5位 『#真相をお話します』 結城 真一郎／著 新潮社 ≪F ヨ≫
- 6位 『老害の人』 内館 牧子／著 講談社 ≪F ウ≫
- 7位 『その本は』 又吉 直樹／著 ポプラ社 ≪F マ≫
- 8位 『嘘つきジェンガ』 辻村 深月／著 文藝春秋 ≪F ツ≫
- 9位 『おいしいごはんが食べられますように』 高瀬 隼子／著 講談社 ≪F タ≫
- 9位 『教誨』 柚月 裕子／著 小学館 ≪F ヨ≫

- 『ひとり旅日和 4』 秋川 滝美／著 KADOKAWA ≪Fア4≫
『おもいいたします』 あさの あつこ／著 徳間書店 ≪Fア≫
『この世の喜びよ』 井戸川 射子／著 講談社 ≪Fイ≫
『心霊探偵八雲 INITIAL FILE 幽霊の定理』 神永 学／著 講談社 ≪Fカ≫
『貸本屋おせん』 高瀬 乃一／著 文藝春秋 ≪Fタ≫
『芦屋山手お道具迎賓館』 高殿 円／著 淡交社 ≪Fタ≫
『孤高の血族』 濱 嘉之／著 文藝春秋 ≪Fハ≫
『任務』 松本 清張／著 中央公論新社 ≪Fマ≫
『馬上の星』 宮城谷 昌光／著 中央公論新社 ≪Fミ≫
『フランスの街の夜』 遠藤 周作／著 河出書房新社 ≪914.6エ≫
『個独という生き方』 下重 暁子／著 東京新聞 ≪914.6シ≫
『こりずにわるい食べもの』 千早 茜／著 ホーム社 ≪914.6チ≫
『旅行鞆のガラクタ』 伊集院 静／著 小学館 ≪915.6イ≫
『失踪願望。コロナふらふら格闘編』 椎名 誠／著 集英社 ≪915.6シ≫
『時ありて』 イアン・マクドナルド／著 下楠 昌哉／訳 早川書房 ≪933マ≫
『ザ・メタバース』 マシュー・ボール／著 飛鳥新社 ≪007ホ≫
『京都不案内』 森 まゆみ／著 世界思想社 ≪291.6モ≫
『お守りを読む』 鳥居本 幸代／著 春秋社 ≪387ト≫
『魔法の計算あそび』 杉之原 眞貴／著 CS出版 ≪410ス≫
『自分で押せるツボ』 柳本 真弓／著 ナツメ社 ≪492ヤ≫
『世界一簡単なしらないレシピ』 ひろち／著 KADOKAWA ≪596ヒ≫
『はじめまして、おやつ』 若山 曜子／著 マガジンハウス ≪596ワ≫
『新！ 掃除の解剖図鑑』 日本ハウスクリーニング協会／著 エクスナレッジ ≪597シ≫
『3ステップでできる!世界で一番やさしいマジック』 藤原 邦恭／著 いかだ社 ≪Y779フ≫

3月の 新刊案内



3月のテーマ 「動物」

『ハリネズミ完全飼育』大野 瑞絵／著 誠文堂新光社 ≪645オ≫
 『カワウソをよく知るための本』コツメカワウソ研究会／編著 グラフィック社 ≪
 『チンチラ完全飼育』鈴木 理恵／著 誠文堂新光社 ≪645ス≫
 『人と共に生きる日本の馬』高草 操／著 里文出版 ≪645タ≫
 『フクロウ完全飼育』藤井 智之／著 誠文堂新光社 ≪646フ≫
 『モモコとうさぎ』大島 真寿美／著 KADOKAWA ≪Fオ≫
 『ニャンニャンにゃんそろじー』有川 浩／著 講談社 ≪Fニ≫
 『少年と犬』馳 星周／著 文藝春秋 ≪Fハ≫
 『はらぺこ犬の秘密』フランク・グルーバー／著 論創社 ≪933ク≫
 『図書館司書と不死の猫』リン・トラス／著 東京創元社 ≪933ト≫
 『はるかなるわがラスカル』スターリング・ノース／著 ブッキング ≪933ノ≫
 『猫語のノート』ポール・ギャリコ／著 筑摩書房 ≪934キ≫
 『ダメ犬だからおもしろい』ジョン・グローガン／著 ランダムハウス講談社 ≪934ク≫
 『狼の群れと暮らした男』ショーン・エリス／著 築地書館 ≪936エ≫
 『ひつじ探偵団』レオニー・スヴァン／著 早川書房 ≪943ス≫

Essay

「野良猫」

実家で飼っていた猫はメスの野良猫で警戒心がつよかった。叔母の経営していたコンビニに住み着いたメス猫が店の敷地内で産んでしまったとのことで、母が1匹を引き受けることになった。私が抱っこして家まで連れ帰ったことを思い出す。家に着くと部屋の隅まで下がってニャーニャー鳴いて警戒していた。その日は部屋の角にお尻を付けたままそこで眠ってしまった。私はそれを寝そべってずっと見ていた。名前は渋く「銀」と命名した。金さん銀さんから父がとってつけた。

月日がたち、家に来てから16年がたった。私はもう大人で銀と会うのも実家に帰省した時だけだった。ある日実家へ車で向かう途中の線路で銀と遭遇した。奴は呼んでも知らん顔だった。家から1キロはあるような場所だった。随分と遠くへ来たもんだと感心していた。実は病気でもうめったに外に出歩くことも少なくなっていたからだ。その数か月後、銀は家から忽然となくなってしまった。よく飼い猫は飼い主に死ぬ姿を見せないというのが、本当だったのかと家族で悲しんだ。

最近縁側で我が物顔で休憩する猫が現れた。毛色は黒と茶と白で茶色の毛がきれいな栗色をしている。初めて縁側で寝ているその姿を目撃した時には驚いた。銀にそっくりだったからだ。近寄ってみたら少し飛びのいて、こちらの様子をうかがっている。離れるとまた縁側まで近づいてきて、またくつろぎはじめてしまった。エサがほしいのかなと思ったがその様子もない。よっぽど縁側の居心地がいいらしい。数日後母にLINEをして、その野良猫の写真をとってLINEをしたら、似てないよ、と言っていたが、翌日確認をしに我が家まで見に来た。銀より少し大きい猫だね。銀の子どもだったりして、なんて二人で縁側に座って話をした。

寄稿：夕焼けぎくろ

2023年3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2023年4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						



南部図書館
開館カレンダー



開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です